



Contents

- 第9回熊野川懇談会が開催されました
- 「明日の熊野川整備のあり方」が発表されました
- 閲覧資料設置場所

No.9

2009年3月発行

■ 第9回熊野川懇談会が開催されました

第9回熊野川懇談会が平成21年3月24日に新宮地域職業訓練センター（新宮市）で開催されました。これまで審議を続けてきた「明日の熊野川整備のあり方」の発表として内容が紹介されるとともに、各委員から、これまでの審議や熊野川の流域の課題に関する感想・意見等の発表が行われました。さらに、河川整備計画原案への関係住民意見の聴取・反映方法についての審議が行われ、その方法について懇談会の意見がとりまとめられました。なお、議事に先立ち、河川管理者による委員の再委嘱の報告とともに、委員長の選考、委員長代理の指名が行われ、委員長、委員長代理が再任されました。

<第9回 熊野川懇談会の概要>

◆ 開催日・場所

- 開催日：平成21年3月24日（火）
- 場 所：新宮地域職業訓練センター 大教室
- 参加者：懇談会委員 12名
河川管理者等 5名
傍聴者 25名

◆ 主な審議内容

1. 「明日の熊野川整備のあり方」の発表

(1) 発表に至る経緯と概要

「明日の熊野川整備のあり方」の発表に至る経緯と作成の目的、目次構成などが紹介されました。

(2) 「明日の熊野川整備のあり方」について

「明日の熊野川整備のあり方」の発表としてその内容が紹介された後、各委員による「明日の熊野川整備のあり方」等の審議や熊野川の流域の課題に関する感想・意見の発表が行われました。各委員の発言内容は以下のとおりです。

■ 各委員の感想・意見など

- ・ 熊野川懇談会では、熊野川の現況を整理した後、計画の議論ができたことが良かった。（高須委員）
- ・ 今後は、熊野川の現況を踏まえて、①住民にもっと参加してもらえる啓発活動、②住民が安心できる熊野川を整備するための予算確保、の2つが必要である。（清岡委員）
- ・ 整備計画に関する記述では、形容詞による抽象的な表現ではなく、具体的な表現を行うべきではないか。（浦木委員）
- ・ 「明日の熊野川整備のあり方」を作成したが、行政が全てを解決してくれるわけではない。やはり、地域住民の主体的な参加や流域の現況を把握する努力が、より一層必要ではないか。（井伊委員）
- ・ 熊野川流域は、魚類の3分の1以上を回遊魚が占める日本でも数少ない川であり、今後は、本川だけでなく支川等についても、外来種の排除をする必要がある。（瀧野委員）
- ・ 熊野川懇談会では、他の流域委員会と異なり、治水施設だけでなく流域全体を見据えた審議を行うことができた。河川管理者は、河川の解析等に関する情報を、国民に分かるように公開してほしい。（椎葉委員長）
- ・ 熊野川流域全体で過疎化が進む中、次世代に熊野川を受け継ぐためには、林業などの産業が栄えることが重要と感じている。（津田委員）
- ・ 最近、カワセミが飛んでいるのを見かけて驚いている。もっと自然環境がよくなることを期待している。（中島委員）
- ・ 今後は、関連部局の間で情報交換等の連携を密に行い、洪水予測等の実施に取り組んでいくことが重要ではないか。（古田委員）
- ・ 「明日の熊野川整備のあり方」の提言に対しては、段階的な達成計画を策定することが重要である。また、洪水予測モデルの構築は、関連部署が連携して早急に取り組んでもらいたい。（間瀬委員）
- ・ 熊野川の具体的な整備計画を策定する上では、世界遺産にまで指定された流域の歴史・文化を踏まえることが重要である。（山本委員）
- ・ 治水対策がダムに頼らず河道掘削となったのは、従来と異なる新しい治水計画の流れだと思う。今後の整備では、左右岸の改修時期等の調和を図る必要があるのではないか。（吉野委員）



■ 会場の様子

2. 熊野川懇談会の進め方について

今後の審議予定と河川整備計画策定までの流れ(案)などが報告されました。

3. 関係住民意見の聴取・反映方法について

審議の結果、熊野川流域（直轄管理区間）では、関係住民意見の聴取・反映方法として、以下の意見がまとめられました。

■ 関係住民意見の聴取・反映方法への意見

- ・集会とアンケート調査を実施する
- ・集会については、流域内の3か所（下流区間〔右岸、左岸〕、猿谷ダム区間）で開催する
- ・アンケートは質問の内容に応じて、選択式と意見記入方式を組み合わせる
- ・「河川整備計画原案」の提示に際しては、要約版を作成し関係住民が閲覧できるよう十分に提示する
- ・関係住民の意見内容がわかるよう、懇談会の開催スケジュールを調整する

■ その他の聴取方法に関する提案

- ・世界遺産の熊野川であるので、熊野川を訪れた人の意見も集める必要があるのではないか。
- ・資料の配布に際しては市町村が発行する広報誌を活用する方がよい。
- ・集会の開催に際しては、住民意見が集まるよう原案の提示方法、広報や集会形式等を工夫してほしい。
- ・アンケートには回答者の属性や、事業の優先度等が分かる設問を入れてほしい。
- ・集会の前にアンケートを実施するなど、より効果の出る実施方法を検討する必要がある。

4. その他

傍聴者から以下の内容で意見が述べられました。

- ・「明日の熊野川整備のあり方」で示された提言の実現に向けて、具体的な計画を示してほしい。

■ 「明日の熊野川整備のあり方」が発表されました

熊野川懇談会では流域の現状を知るため、河川管理者等からの説明だけでなく、現地視察会や「熊野川を語る会」を開催し、その把握に努めてまいりました。これらの活動をとおして、懇談会では流域全体からの視点で流域の課題を整理し、意見や解決の方向を示しておく必要があるとの認識に達しました。このことは河川整備計画原案の審議だけでなく、熊野川に係わる流域の人々にとっても有益であると考えられ、そのため熊野川懇談会ではこの内容を、熊野川の直轄管理区間の「河川整備計画の原案」の作成にあたり留意すべき点とともに「明日の熊野川整備のあり方」にとりまとめ、発表することとしました。

「明日の熊野川整備のあり方」では、以下の課題について意見や方向を示しています。

■ 採り上げられた主な課題

<治水の課題>

- ◆目標流量の設定、段階整備の実施
- ◆浸水被害の軽減のために
- ◆流域連携とソフト対策
- ◆森林管理、治山の総合的推進
- ◆流砂・河床変動
- ◆海岸侵食
- ◆地震・津波に備える

<自然環境の課題>

- ◆濁水の長期化・発生源対策
- ◆水質の劣化(大腸菌対策)・下水処理施設の整備
- ◆流砂と河川形状および河川敷と河岸の植生管理
- ◆生息生物(植物・魚類)の把握と外来魚対策
- ◆地域特性を活かした多自然川づくりの推進

<歴史・文化の課題>

- ◆歴史と伝承の調査
- ◆歴史文化の継承方策
- ◆資産の保全と復元
- ◆魅力発信の手だて
- ◆ふさわしい川づくりの理念を

<利用・利水の課題>

- ◆都市用水、農業用水の展望
- ◆発電用水の適正な運用
- ◆観光舟運の活性化
- ◆漁業
- ◆正常流量

<地域振興の課題>

- ◆流域の産業振興と経済基盤の強化
- ◆地域を持続的に維持・管理する担い手の確保と育成
- ◆流域住民の交流・連携の強化

<景観の課題>

- ◆人工構造物の景観整備
- ◆クリーンな熊野川
- ◆自然林の保全と復元
- ◆世界遺産にふさわしい景観形成



『明日の熊野川整備のあり方』は以下の熊野川懇談会のホームページで閲覧できますのでご覧ください。

熊野川懇談会 ホームページアドレス <http://www.kumanogawa.org/>

＜閲覧資料設置場所＞

■ 会議資料、議事録、「くまこんだより」は下記の場所で閲覧できます。

区分	事務所名	所在地		
国機関	近畿地方整備局	近畿地方整備局 河川計画課	大阪市中央区大手前 1-5-44	
		紀南河川国道事務所 調査第一課	田辺市中万呂 142	
		紀南河川国道事務所 新宮川出張所	新宮市磐盾 1-8	
		紀の川ダム統合管理事務所 管理課	五條市三在町 1681	
		紀の川ダム統合管理事務所 猿谷ダム管理支所	五條市大塔町辻堂 1-3	
県機関	和歌山県	県土整備部 河川課	和歌山市小松原通 1-1	
		東牟婁振興局 新宮建設部 事業調整課	新宮市緑ヶ丘 2-4-8	
		西牟婁振興局 建設部 管理課	田辺市朝日ヶ丘 23-1	
	三重県	県土整備部 河川砂防室	津市広明町 13	
		熊野建設事務所 事業・用地推進室	熊野市井戸町 371	
	奈良県	土木部 河川課	奈良市登大路町 30	
		吉野土木事務所 計画調整課	吉野郡吉野町上市 2150-1	
		吉野土木事務所 工務第3課	吉野郡上北山村河合 420-1	
		吉野土木事務所 天川駐在所 管理課	吉野郡天川村沢谷 58	
		五條土木事務所 用地管理課	五條市今井 5-1-31	
		五條土木事務所 工務第2課	吉野郡十津川村上野地 356-1	
	市町村役場	和歌山県	新宮市役所 企画調整課	新宮市春日 1 番 1 号
			田辺市 本宮行政局 産業建設課	田辺市本宮町本宮 219
北山村役場 総合政策課			東牟婁郡北山村下尾井 335	
三重県		紀宝町役場 分庁舎 産業建設課	南牟婁郡紀宝町成川 656	
		熊野市役所 市長公室企画係	熊野市井戸町 796	
		御浜町役場 産業建設課	南牟婁郡御浜町大字阿田和 6120-1	
奈良県		十津川村役場 生活環境課	吉野郡十津川村小原 225-1	
		下北山村役場 地域振興課	吉野郡下北山村寺垣内 983	
		上北山村役場 地域振興課	吉野郡上北山村河合 330	
		野迫川村役場 地域振興課	吉野郡野迫川村大字北股 84	
		五條市 都市整備部 都市計画課	五條市本町 1 丁目 1-1	
		天川村役場 産業建設課	吉野郡天川村大字沢谷 60	

熊野川懇談会 ニュース No.9

【編集・発行】 熊野川懇談会 2009年3月 発行

【連絡先】 熊野川懇談会 庶務

三井共同建設コンサルタント株式会社 関西支社内（担当：中條・楠）

〒552-0007 大阪市港区弁天1丁目2番1-1000号

（オーク1番街10階）

TEL：06-6599-6025 FAX：06-6599-6050

熊野川懇談会 ホームページアドレス <http://www.kumanogawa.org/>

※メールにつきましては、ホームページの「ご質問・お問い合わせ」をご利用下さい。